

公 共

見積用

なかとから浄水場池棟(2系No.1)耐震補強工事

参考資料

特 記 仕 様 書

十勝中部広域水道企業団

1. 適用

本工事は工事請負契約書に基づき、「設計図書」及び「特記仕様書」、下記に記載する図書に基づき施工するものとする。

- ① 「水道工事標準仕様書（土木工事編）最新版」 日本水道協会監修
- ② 「水道工事標準仕様書（設備工事編）最新版」 日本水道協会監修
- ③ 「土木工事共通仕様書 最新版」 北海道建設部監修

上記、各図書に記載のない場合においては、関係各要綱及び要領、示方書及び指針等に準拠することとし、その適用にあたってはその都度監督員と協議を行うこと。 また、施工にあたり疑義、不明な点が生じた場合も同様に協議を行うこと。

2. 工事積算基準等

本設計図書は、全国簡易水道協議会が発行する「水道事業実務必携、国庫補助事業歩掛表」、国土交通省「土木工事標準積算基準書」、北海道建設部制定「土木工事積算基準」に基づき作成している。

3. 概数

- (1) 設計内訳書「摘要」欄に「概数」と示した数量は概数であり、必要に応じて設計変更するものとする。なお、設計に対して過大な出来形数量に変更するものではないことに留意すること。
- (2) この工事においては、設計変更図書の作成（変更図面の作成及び工事数量の算出）を受注者が行うものとする。
- (3) 概数に係る施工にあたっては、施工図面・数量計算書等作成のうえ、工事監督員と十分協議し、施工協議簿にその打合せ経過を記入すること。
- (4) 標準図は標準的な施工または出来形を示すものであり、現地状況等に応じて受注者は十分照査のうえ実施するものとする。
- (5) 変更の必要が生じた場合は、すみやかに工事監督員と協議を行うこと。
- (6) 設計内訳書「摘要」欄に「概数」と示した仮設工の工事数量は、標準的な工法により算出したものであるため、取り合い等によって新たに必要となる項目についても概数として扱うことがある。

4. 参考図

参考図として示した図面は、発注者が想定した工法、材料等を記したものであり、これに示されている事項については、受注者の任意施工を拘束するものではない。ただし、現場条件等により、これにより難しい場合は必要に応じて設計変更する。

なお、設計上過大な計画に対して変更するものではないことに留意すること。

5. 工期

本工事の予定価格算出の基礎となる積算基準日及び積算工期は下記のとおりである。

積算基準日 令和 7 年 7 月 1 日

積算工期 令和 7 年 7 月 2 5 日 ～ 令和 8 年 3 月 1 0 日

この工期には、雨天、休日等(日曜日、祝日、夏季休暇、年末年始休暇及び作業期間内の全土曜日を含む。)を見込んでいるものである。

6. 施工条件の明示

- ・池内部の施工は、原水水質が安定した時期に行うものとし、協議のうえ決定する。
- ・池部の水抜き、水張等の作業は、浄水場運転管理受託者が協議のうえ実施する。
- ・撤去再設置する攪拌設備は、浄水処理における重要な設備であることから、作業は設備に精通した者が行うこと。

7. 施工計画書の作成

- (1) 受注者は、契約後すみやかに公示用設計図書の検討、基本的な測量による現場確認、関係機関への届け出、監督員との打合せを行うこと。
- (2) 特記仕様書に記載のある条件明示の項目について、全て現地等と適合するか否か確認し、施工計画書に図面を含め詳細（管理者名、会社名、住所、距離及び受け入れ条件等）に記載すること。設計図書と現地等において相違が確認された場合は、直ちに監督員に報告し、必要に応じ協議すること。
- (3) 施工計画書を提出し確認を受けるまで、工事に着手（物理的な行為）してはならない（測量、調査は除く）。ただし、監督員の承諾を得た場合は、この限りではない。
- (4) 施工方法には、具体的な作業手順、具体的な作業方法、当該工事で留意すべき事項を記載すること。
- (5) 出来形管理基準、品質管理基準及び写真管理基準について、合格判定値のほか社内管理基準を明記すること。また、どこの箇所（測点等）でどの程度実施するのか予定箇所等を記載すること。
- (6) 品質管理基準は、小規模な工事以外は関連項目をすべて満足できるよう、試験方法、品質管理基準項目及び実施項目については、監督員と協議し、施工計画書に記載すること。
- (7) 特記仕様書及び共通仕様書等で指定のある段階確認及び立会については記載することとし、その他の段階確認事項については、工事監督員と協議のうえ記載すること。
- (8) 施工計画書で変更になる部分は、その理由を付したうえで、すみやかに監督員に提出すること。
- (9) 道路上において作業等をする場合は、道路交通法第77条第1項の規定に基づく道路使用許可を所轄警察署から受け、施工計画書に添付すること。

8. 工事看板

工事看板は、「道路工事現場における標示施設等の設置基準」（昭和37年8月30日道発第372号建設省道路局長通達）に基づき掲示するものとし、工事終了日、工事時間帯等を表示すること。

9. 安全訓練等の報告

「共通仕様書」1-1-1-33に従い実施された安全・訓練等の状況を、開催毎の写真、出席者名簿（署名入り等）等を報告書に添付し提出すること。また、安全・訓練の他に、災害防止協議会、安全パトロールの実施状況を添付し提出すること。KY活動や器材の点検記録等は提出は求めないが、社内にて保管すること。

10. 段階確認事項

次の時期又は工種については、段階確認を実施する。また、次に示すほか、必要となる確認事項については監督員と協議すること。

- ・施工範囲の墨出し確認 ・配筋確認 ・型枠確認
- ・資材検収 ・後施工アンカー引張試験
- ・その他、監督員が指定した時点。

11. 社内検査

社内検査の具体的な実施計画を記載した「社内検査計画書」を監督員に提出（施工計画書に添付）すること。「社内検査計画書」には、社内検査員任命書（写し）及び経歴書を添付すること。 また共同企業体施工による複数の検査員を任命する場合には、統括検査員を定めること。

社内検査結果は、「社内検査報告書」として取りまとめ、検査の状況写真等を添付のうえ、その都度、監督員に提出すること。

12. 共同企業体編成表

本工事を共同企業体で受注した場合は、契約締結後 5 日以内（着工届に添付）に共同企業体編成表を作成のうえ、監督員に提出すること。

13. 工事完成届

工事完成届の提出に際し、完成写真として着工前及びこれと対比できる完成の写真帳を提出すること。なお、写真帳には撮影年月日及び測点等を記入するものとする。

14. 特定建設資材廃棄物の処理について

- （１） この工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成 12 年法律第 104 号、以下「建設リサイクル法」という）に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。
- （２） 建設リサイクル法に係る特定建設資材（コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルトコンクリート）を用いた工作物等の解体においては、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律施行規則」に定められた方法により分別解体等を実施すること。
- （３） 分別解体等を実施する者（下請け含む）は、建設業法の土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業に係る第 3 条第 1 項の許可を受けた者か、解体工事業登録を受けた者が施工すること。また、解体工事業登録を受けた者が分別解体等を実施する場合は、分別解体等を実施する場所において解体工事業に係る登録等に関する省令に定められた解体工事業者登録票を掲示し、解体工事登録者が選任した建設リサイクル法に規定される技術管理者に、その分別解体等の監督をさせなければならない。
- （４） 分別解体等によって発生する特定建設資材廃棄物（コンクリート塊、発生木材、アスファルトコンクリート塊）は、受注者において適正な処理施設を選定し、施工計画書に建設廃棄物における適正処理計画について記載すること。なお、受注者の提示する処理施設と積算上想定している処理施設が異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。また、変更が生じた場合は、必要な資料を提出のうえ、工事監督員と協議すること。
※ 処分場所については、受入可能な施設のうち、積算上運搬費等も含めて一番安価な処理施設を想定している。
- （５） 当該工事受注後すみやかに再生資源利用計画書（様式 1・イ）及び再生資源利用促進計画書（様式 2・ロ）に必要事項を記載し施工計画書に添付すること。なお、再生資源利用計画書（様式 1・イ）及び再生資源利用促進計画書（様式 2・ロ）は、工事着手日までに

工事監督員に提出し、提出時にその内容を説明すること。受注者は再生資源利用促進計画を書面または映像（デジタルサイネージ）により工事現場の見やすい場所へ掲示するとともに、可能な限りインターネットの利用により公表するよう努めること。工事完成後、建設廃棄物の処理の実施状況を記録し、再資源化等報告書、再生資源利用実施書（様式１）及び再生資源利用促進実施書（様式２）を作成し、監督員に提出するとともに、５年間保存すること。また、工事監督員から請求があった時は、当該実施状況を報告しなければならない。なお、再生資源利用（促進）計画書（実施書）は、建設副産物に係る情報入力システム（一般財団法人日本建設情報総合センターが提供する建設副産物情報入力システム（COBRIS）等）により作成すること。これにより難しい場合、監督員と別途協議すること。

- （６） 産業廃棄物の収集・運搬・処分を委託する場合は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、適正に処理するとともに産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付し、５年間保存すること。また、工事完成後監督員に産業廃棄物管理票（マニフェスト）総括表を作成し提出すること。なお、産業廃棄物管理票のＡ票、Ｅ表及び受入伝票のコピーに関しては、監督員の指示があった場合に提出すること。
- （７） 工事写真に、処理業者名（処分場名の看板等）が判り且つ搬入状況も判る写真を貼付すること。
- （８） 本設計図書において発生しないものとしている種類の特定建設資材廃棄物であっても、受注者の都合により実際に発生させ、廃棄物として処分する場合は、当該特定建設資材廃棄物の再資源化等実施方法の確定後に、建設リサイクル法第１３条及び分別解体等省令第４条に基づく協議書の別記様式を準用し、「４ 再資源化等をするための施設の名称及び所在地」欄に必要事項を記載して、工事監督員の確認を受けること。

15. 排出ガス対策型建設機械の使用について

- （１） 当該工事において使用する建設機械は、現場作業環境の改善、大気環境の保全を目的として、排出ガス対策型建設機械（以下、「排対機械」という。）を使用することを原則とする。
- （２） 排対機械を使用できない場合は、排出ガス浄化装置を装着した建設機械（以下排対機械を含め、排対機械等）を使用することで排対機械と同等とみなす。ただし、リース会社に在庫が無い、自社持ち機械を使用する、浄化装置を装着できない等の理由により排対機械等を使用できない場合は、その理由書を監督員に提出し協議すること。
- （３） 施工計画書の使用機械一覧表に、排対機械等の使用の有無を明記すること。
- （４） 当該工事の施工に排対機械等を使用したことを証明する施工状況写真を検査時に提出しなければならない。
- （５） 排対機械等を使用できない場合については、設計変更の対象とする。

16. 地上地下の既設公共施設の被害防止について

電気、通信、水道、ガスなど社会生活に重大な影響を及ぼす既設公共施設については、特段の注意を払い工事現場の管理を行うこと。

- （１） 地上地下の既設公共施設の確認
工事着工前に、工事箇所及びその周辺にある既設公共施設の確認を確実に行うこと。確認結果は監督員に報告すること。
- （２） 施設管理者との協議等
既設公共施設の有無にかかわらず、すみやかに施設管理者と協議を行うこと。工事により施設に影響を及ぼす恐れのある場合は、施設管理者の指示を受け、その必要な保安措置を講じること。
- （３） 施工計画書の提出
施工計画書に、施設管理者との協議、指示内容及び保安措置について具体的に記載し、工事監督員に提出すること。なお、該当施設がない場合であっても、その旨、記載すること。

- (4) 工事の着手
施工計画書の提出及び事故防止保安措置を講じた後でなければ、工事に着手してはならない。
- (5) 北電配電線・送電線設備
工事着手前に「北電送電課及び配電課」と打合せを行い、その内容を施工計画書に明記すること。
- (6) NTT通信設備
工事着手前に「(株)NTT東日本-北海道 道東支店設備部門」と打合せを行うこと。工事看板に協議済みシールを添付すること。

17. 資材納入伝票

生コンクリート、路盤用骨材（切込砂利、碎石、砂、再生骨材等）及び採取土などの納入伝票は、工事監督員の確認のうえ全て受注者において保管すること。また、完了検査時には持参し検査員の求めに応じて速やかに提出できるようにしておくこと。なお、資材納入伝票の保存期間は5年間とする。

18. 北海道循環資源利用促進税（以下、「循環税という」）について

当該工事で発生する産業廃棄物が道内の最終処分場に直接搬入される場合、または中間処理場に搬入される場合でも、減量化・リサイクル等により残さ等が発生し、最終処分場に搬入される場合は、循環税が課税されるので適正に処理すること。なお、循環税相当額が当初設計に計上されておらず、適切な工程管理のもと産業廃棄物を最終処分場または中間処理場に搬入し、循環税相当額が必要となる場合は、別途協議とする。

19. 工事保険の加入について

本工事は、次に規定する保険等に参加しなければならないものとし、保険契約締結後、工事監督員に保険証券の写し（保険以外の場合には、保険証券に代わるもの）を提出すること。

- (1) 保険等の種類
 - ① 工事目的物、工事材料及び仮設物等に生じる損害を填補する保険。（土木工事保険、組立保険等）
 - ② 工事の施工に伴い第三者に与えた損害を填補する保険。（請負業者賠償責任保険等）
 - ③ 上記に準ずるその他の保険。
- (2) 保険等の金額
 - ① 請負代金以上。
- (3) 保険等の期間
 - ① 工事着手のときから工事目的物の引き渡しまでの期間

20. 衛生管理

本工事は、水道施設改修工事であることから、現場担当者・作業員の衛生管理に留意すること。
水道施設内に立入る者は、水道法第21条に基づいた健康診断(保菌検査)を実施し、保菌検査(検便)結果書を提出すること。

21. 施工

(1) 構造物撤去工事

- ① コンクリート構造物取壊し及びコンクリートはつりを行うにあたり、本体構造物の一部を撤去する場合には、本体構造物に損傷を与えないように施工すること。
- ② 殻運搬処理を行うにあたり、運搬物が飛散しないよう適正に処理しなければならない。
- ③ 鋼材切断を行うにあたり、本体部材として兼用されている部分においては、本体の部材に悪影響を与えないように処理しなければならない。

(2) コンクリート工事

- ① コンクリートは、生コンクリートを使用し、JIS A 5308「レディミクストコンクリート」によること。
- ② コンクリートの強度は、次のとおりとする。

種 別	場 所	設計基準強度(N/mm ²)	粗骨材の最大寸法(mm)	スランプ [°] (cm)	参考
無筋コンクリート	勾配コンクリート	18	40	5	C-4
鉄筋コンクリート	増し打ち補強	24	20～25	12	RC-4

(3) 鉄筋工事

- ① コンクリートに使用する鉄筋は、JIS G 3112「鉄筋コンクリート用棒鋼」に規定するSD345熱間圧延棒鋼を使用すること。
- ② 鉄筋の交差点は、20#の鉄線又は適当なクリップで堅結しなければならない。
- ③ 鉄筋と型枠との間隔は、スペーサー、吊金具等によって正しく保たなければならない。
- ④ 鉄筋の継手は、重ね継手・ガス圧接継手とし、「金属材料引張試験方法」に準じてこれを試験し、継手の強度を確認しなければならない。
- ⑤ 鉄筋の重ね継手の定着長さは、設計標準図に示す長さ以上とすること。また、明示なきものは発注者の指示に従うこと。
- ⑥ 鉄筋組立後、コンクリート打設に先立ち、発注者の配筋検査を受けること。
- ⑦ 開口部周囲には、図示になくとも補強筋を挿入すること。

(4) 型枠工事

- ① 型枠は、合板型枠又は木製型枠を使用すること。
- ② 池内防水塗装面の型枠は、型枠取り外し後、防水可能な型枠を使用すること。
- ③ 型枠の取り外しは、監督員の承認を受けて行ない、コンクリートに損傷を与えないように十分注意しつつ取り外さなければならない。

(5) 型枠支保工事

- ① 型枠支保工の材料は、著しく損傷、変形または腐食があるものを使用してはならない。
- ② 型枠支保工を組み立てる場合には、型枠の形状、コンクリートの打設方法に応じて堅固な構造のものとする。
- ③ 型枠支保工の解体は、コンクリート部材に衝撃を与えないように、コンクリート部材との間に隙間ができるまで、全体を一様に徐々にゆめ解体するものとする。

(6) 池内防水工事

- ① 本工事の池内防水仕様は、下記の条件を満たすものとする。
ア) 日本水道協会規格JWWA K-143に規定される性能試験に合格するもの。
イ) 水道法第5条「水道施設の技術的基準を定める省令（厚生労働省令15号）」に規定される資機材等の材質に関する試験に合格するもの。
ウ) 環境ホルモン物質が含まれないもの。
エ) 塗布面（コンクリート面）がある程度湿潤状態であっても、所定の性能を確保できるもの。
- ② 防水塗装前には、池内清掃後、高圧洗浄などを行って施工面を洗浄すること。
- ③ クラックが発生している箇所を確認した場合は、監督員と協議すること。

(7) あと施工せん断補強鉄筋

- あと施工せん断補強鉄筋は、下記の条件を満たすものを採用すること。
- ① チューブ式無機系接着アンカーと同等以上の性能を有すること。ただし、製品変更の際は有効せん断耐力が異なるため、受注者の責任において必要本数を再計算すること。この場合の設計変更は行わない。
- ② 一般財団法人土木研究センターの建設技術審査証明を取得した工法であること。
- ③ あと施工せん断補強鉄筋の施工に当たっては、鉄筋探査により既存鉄筋位置を復元した上で、既存鉄筋と干渉しないよう、せん断補強鉄筋配置を精査及び見直しを行い、施工計画に反映すること。
- ④ 既存鉄筋と設計図書に示すあと施工せん断補強鉄筋の施工位置が干渉する場合は、設計図書に示す必要本数及び構造細目を満足する範囲内で、あと施工せん断補強鉄筋の施工位置を変更すること。その他詳細は、鉄筋探査の結果に基づき、監督員との協議により決定すること。

22. 提出書類

提出する書類は次のとおりとする。

(1) 工事の着手前に提出するもの

提出書類	提出時期	対象工事	備考・注意点	根拠	備考
工事工程表	契約後、ただちに提出	すべての工事		契約書 第3条第1項	
着工届	着工（契約の翌日から5日以内）次第、ただちに提出	すべての工事	事業開始届受理証明書の承認印を受けるか、または、労働者災害補償保険関係成立届を添付	契約書 第3条第2項	
主任技術者及び現場代理人届	着工後、ただちに提出	すべての工事	主任（監理）技術者が3ヶ月以上継続して雇用されていることを確認できる書類の写しを添付	契約書 第10条第1項 監理技術者制度運用マニュアル	

経歴書（技術者）	着工後、ただちに提出	すべての工事		契約書 第10条第1項	
共同企業体編成表	着工届に添付	共同企業体で受注した工事			
共済掛金収納書届	契約から1ヶ月以内に提出	すべての工事		要綱 第9条第1項	
保険証券等の写し （火災保険・建設工事保険等）	保険契約締結後速やかに提出	すべての工事		契約書 第46条第2項	
工事カルテ作成・登録	受注・変更・完成・訂正時10日以内	請負代金が500万円以上	工事实績情報サービス（CORINS）に基づき、監督員の確認を受けてから登録し、受領書を提出		仕様書1-1-1-8
施工体制台帳 【様式施工1号】	着工後すみやかに工事現場に備えとともに写しを提出	下請契約がある工事	全ての一次以降下請契約書の写しを添付	要綱 第6条第1項	
施工体系図 【様式施工2号】	着工後すみやかに掲示するとともに写しを提出	下請契約がある工事	工事関係者及び公衆が見やすい場所に掲示	要綱 第6条第2項	
再下請負通知書 【様式施工5号】	再下請契約取り交わし後すみやかに提出	二次以降の下請契約がある工事	二次以降下請→一次以降下請→元請（元請が提出を指導・取りまとめ）	要綱 第6条第3項	
再生資源利用計画書 再生資源利用促進計画書	工事着手（実際の工事着手）の7日前	すべての工事	建設リサイクル法通知資料 施工計画書に添付	建設リサイクル法 第11条	仕様書1-1-1-22
施工計画書	工事着手（測量開始）前、変更の都度	すべての工事			仕様書1-1-1-6
安全訓練等実施計画	施工計画書に添付	すべての工事			仕様書1-1-1-33
特定建設作業実施届出の写し	施工計画書に添付	騒音規制法・振動規制法に規定された特定建設作業を行う場合			
工事材料品質確認願	材料の使用前	すべての工事		契約書 第13条第1項	仕様書1-2-1-1 仕様書1-2-2-1
官公庁及び関係機関への届出の写し	事前	関係機関等への届出がある場合			仕様書1-1-1-42

※「仕様書」とあるのは、「北海道建設部土木工事共通仕様」のことをいう。

※「契約書」とあるのは、「工事請負契約書」のことをいう。

※「要綱」とあるのは、「帯広市発注工事に係る元請・下請適正化指導要綱」のことをいう。

(2) 工事の施工中に提出するもの

提出書類	提出時期	対象工事	備考・注意点	根拠	備考
工事施工協議簿	指示、承諾、協議、 検査、確認時	すべての工事			
履行報告書	毎月	すべての工事			仕様書1-1-1-30
立会願	立会前	契約図書に指定された 事項がある工事			仕様書1-1-1-23
段階確認願	段階確認前	契約図書に指定された 時点、工種がある工事			仕様書1-1-1-23
社内検査報告書	その都度、状況写真を添付して監督員に 掲示、検査時に提出	すべての工事			仕様書1-1-1-50
安全訓練等実施報告書	監督員の請求があつた 場合は掲示、検査時に提出	すべての工事	実施計画は施工計画書に添付		仕様書1-1-1-33
排出ガス対策型建設機械等の使用を証明する写真		排出ガス対策型建設機械等の使用する工事	工事写真帳に添付		仕様書1-1-1-37
概数確定に必要な書類	確定後速やかに	すべての工事			

※「仕様書」とあるのは、「北海道建設部土木工事共通仕様」のことをいう。

※「契約書」とあるのは、「工事請負契約書」のことをいう。

※「要綱」とあるのは、「帯広市発注工事に係る元請・下請適正化指導要綱」のことをいう。

(3) 工事完成時に提出するもの

提出書類	提出時期	対象工事	備考・注意点	根拠	備考
完成届	工事が完成した時	すべての工事	撮影年月日を記載した着工前とこれと対比できる完成写真を添付（1部提出）	契約書 第31条第1項	
建退共証紙貼付実績書	完成届提出時	元請、下請業者が建退共に加入している場合	建退共に加入している全ての業者分作成	要綱 第9条第1項第4号	建退共に加入しているが証紙貼付実績がない場合は「該当なし」として提出
下請代金の支払状況一覧【様式施工4号】	完成届提出時	下請契約がある工事		要綱 第6条第2項	

施工体系図(結果報告用) 【様式施工3号】	完成届提出時	下請契約がある工事		要綱 第6条第2項	
再資源化等報告書	再資源化の完了後すみやかに	建設リサイクル法対象工事	施工計画書に添付	建設リサイクル法 第18条	
再生資源利用実施書 再生資源利用促進実施書	再資源化の完了後すみやかに	すべての工事	電子データは監督員へ提出 ペーパーは施工計画書に添付 1年間保存		仕様書1-1-1-22
実施工程表	完成届提出時	すべての工事	施工計画書に添付		実施工程を朱書きすること

※「仕様書」とあるのは、「北海道建設部土木工事共通仕様」のことをいう。

※「契約書」とあるのは、「工事請負契約書」のことをいう。

※「要綱」とあるのは、「帯広市発注工事に係る元請・下請適正化指導要綱」のことをいう。

(4) 工事成果品

	要・否	提出成果品名	留意事項
計画	要	施工計画書	別途参照
工程管理	要	履行報告書	
施工管理全般	要	工事写真帳	「共通仕様書」の写真管理基準を参照
	要	工事施工協議簿	双方が署名または押印したもの。原本を発注者が、写しを受注者が保管する。
	要	段階確認願・立会願	
	要	工事材料品質確認願	
品質管理	要	試験成績書・品質証明書	使用した全ての材料について、品質を証明する資料を添付
	要	現場試験成績表	仕様書の品質管理基準及び規格値に定められた工種別の試験項目について、試験基準に適合する頻度で実施されているか
出来形管理	要	出来形管理図表	測定結果総括表、測定結果一覧表、出来形測定表、出来形管理図など
	要	出来形図	A3版またはA4版に綴れる大きさとする。大きさについては監督員と協議すること
	要	使用資材総括表	設計数量との対比、割増量は適正か
	要	廃棄物関係書類	廃棄物管理票の写し
安全管理	要	安全訓練等実施状況報告書	
全般管理	要	社内検査報告書	
その他		高度技術・創意工夫に関する実施状況報告書	
		諸官庁申請手続報告書	
		工事監督員が必要と求めたもの	

23. 週休2日工事の実施について

- (1) 本工事は、「週休2日工事」の対象工事であり、当初予定価格は月単位の週休2日以上の達成を前提とした経費の補正を行っている。
- (2) 受注者は、月単位の週休2日による施工を希望する場合、契約後、発注者と協議を行い、協議が整った場合に月単位の週休2日による施工を行うこととする。なお、月単位の週休2日が達成できない場合においても、通期の週休2日による施工に努めること。
- (3) 月単位の週休2日とは、対象期間の全ての月において、4週8休以上（現場閉所日数（降雨、降雪等による予定外の現場閉所日を含む。）の割合（以下「現場閉所率」という。）が28.5%（8日／28日）以上の水準に達する状態）の現場閉所を行ったと認められる状況をいう。ただし、暦上の土曜日・日曜日の閉所では現場閉所率が28.5%に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上の閉所を行っている場合に、達成しているものとみなす。
通期の週休2日とは、対象期間の現場閉所率が28.5%（8日／28日）以上の水準に達する状態をいう。
対象期間は、工事着手日（現場に継続的に常駐した最初の日）から工事完成日（各種仮設物を撤去し、現場の清掃を完了した日）までの期間をいう。なお、年末年始6日間、夏期休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間等）は含まない。
契約後、週休2日の対象期間としていた期間において、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じる場合は、受発注者間で協議し、現場閉所による週休2日の対象外とする作業と期間を決定するものとする。
- (4) 現場閉所とは、巡回パトロール、保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場が閉所された状態をいう。なお、降雨、降雪などによる予定外の現場閉所日についても現場閉所日に含めるものとする。
- (5) 週休2日の確保の取組は、将来の担い手確保、入職しやすい環境づくりを目指すものであることから、週休2日による施工を実施する受注者は、その趣旨に沿った休日の取得に努めるものとする。
- (6) 週休2日の実施の確認方法は、次によるものとする。
 - 1) 受注者は、別紙休日等取得実績調書を発注者へ提出する。
 - 2) 休日等取得実績調書の提出は着工時、毎月末、工期の20日前及び完成時とする。
- (7) 発注者が必要に応じ週休2日の実施状況の聞き取り等を行う場合には、受注者は協力するものとする。
- (8) 受注者が月単位の週休2日による施工を希望しない場合又は現場閉所の達成状況の結果、月単位の週休2日に満たない場合は、労務費、機械経費（賃料）、共通仮設費率及び現場管理費率の補正について、通期の週休2日の補正係数に変更するものとし、通期の週休2日に満たないものは、補正係数を乗じない。また、市場単価についても月単位の週休2日に満たない場合は設計変更を行う。
なお、その他労務費分が明らかとなっていない単価等については補正の対象としない。
- (9) 「週休2日工事」について、受注者を対象としたアンケート調査の依頼があった場合は協力するものとする。
- (10) 週休2日の実施計画書提出後、当該工事の全体工期に影響はでないものの、一部の施工内容・箇所に変更があり、工期内での期限を設ける必要がある場合は、対象期間外とできる場合があるので、受発注者間協議を行うこと。
- (11) その他の事項については、帯広市週休2日工事実施要領によるものとする。

施 工 計 画 書

令和 年 月 日

十勝中部広域水道企業団
企業長 米沢 則寿 様

受注者 住 所

氏 名

印

工 事 名

上記工事について、施工計画書を下記のとおり提出します。

1. 工事概要
2. 計画工程表
3. 現場組織表（施工体系図を含む）
4. 使用機械
5. 使用資材
6. 施工方法（仮設備計画、工事用地等を含む）
7. 施工管理計画（工事監督員の立会、段階確認の内容及び時期、品質、出来形、写真管理等を含む）
8. 緊急時の体制及び対応
9. 安全管理（安全訓練等の実施計画を含む）
10. 交通管理（過積載防止対策を含む）
11. 環境対策
12. 現場作業環境の整備
13. 建設副産物の適正処理計画
14. 再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書
15. 社内検査
16. その他

上記工事について、施工計画書を受理しました。

令和 年 月 日

監督員職氏名

印

課 長	課長補佐	係 長	主 任

工事看板記載仕様

ご迷惑をおかけします

**浄水場を
補強しています。**

**令和〇年〇月〇日まで
時間帯 00:00 ~ 00:00**

浄水場耐震補強工事

**発注者 十勝中部広域水道企業団
電話 65局4208番**

**施工者 ○○○工業株式会社
電話 ○○局○○○○番**

工事名を標示する

お 願 い

水道施設工事のため、
ご迷惑をお掛けします
が、よろしくご協力願
います。

なお、お気付きの点は
係員にお申し出下さい。

**発注者 十勝中部広域水道企業団
電話 65局4208番**

**施工者 ○○○○株式会社
電話 ○○局○○○○番**

注：現場に施工業者の工事作業所及び現場代理人詰所等がない場合は

施工会社のみ記載とする。詳細は共通仕様書による。

なお、市街地の工事については工事監督員との協議のうえ1/2
サイズも設置可とする。

段 階 確 認 願 (第 回)

年 月 日

(監督員宛) 様

(受注者名)
現場代理人



下記について、段階確認をお願いします。

記

段階確認の内容

工 事 名		実 施 希 望 日			年 月 日	
工 種	細 目 等	品 質 規 格	区 域 ・ 測 点 等	数 量 等	呼 称	備 考

上記の段階確認について、以下のとおり実施します。

年 月 日

監督員



実 施 日 時	年 月 日 時から	実 施 者 名	
実 施 場 所	☐ 工事現場、 ☐ 制作工場、 ☐ （実施場所）		
実 施 方 法	☐ 臨 場、 ☐ 机 上		
必 要 書 類	☐ 設計図書、 ☐ 測量結果、 ☐ 出来形図等、 ☐ 品質規格証明等 ☐ 施工管理記録、 ☐ 写真、 ☐ （その他必要書類等）		
特 記 事 項			

(主 旨)

本様式は、現場代理人が工事監督員の段階確認を受ける必要がある場合に、工事監督員に提出するものである。

- 注 1 該当する□内に✓を記入すること。
2 本様式は現場代理人が保管することとし、工事監督員はその写しを受け取ること。
3 段階確認の結果及び指示事項については、工事施工協議簿にて明らかにすること。

社 内 検 査 計 画 書

令和 年 月 日

十勝中部広域水道企業団
企業長 米沢 則寿 様

受注者 住 所

氏 名

印

工 事 名

上記工事について、社内検査計画書を別紙のとおり提出しますので、ご
確認願います。

上記工事について、社内検査計画書を確認しました。

令和 年 月 日

監督員職氏名

印

社 内 完 成 検 査 報 告 書

令和 年 月 日

十勝中部広域水道企業団
企業長 米沢 則寿 様

受注者 住 所

氏 名 印

工事名

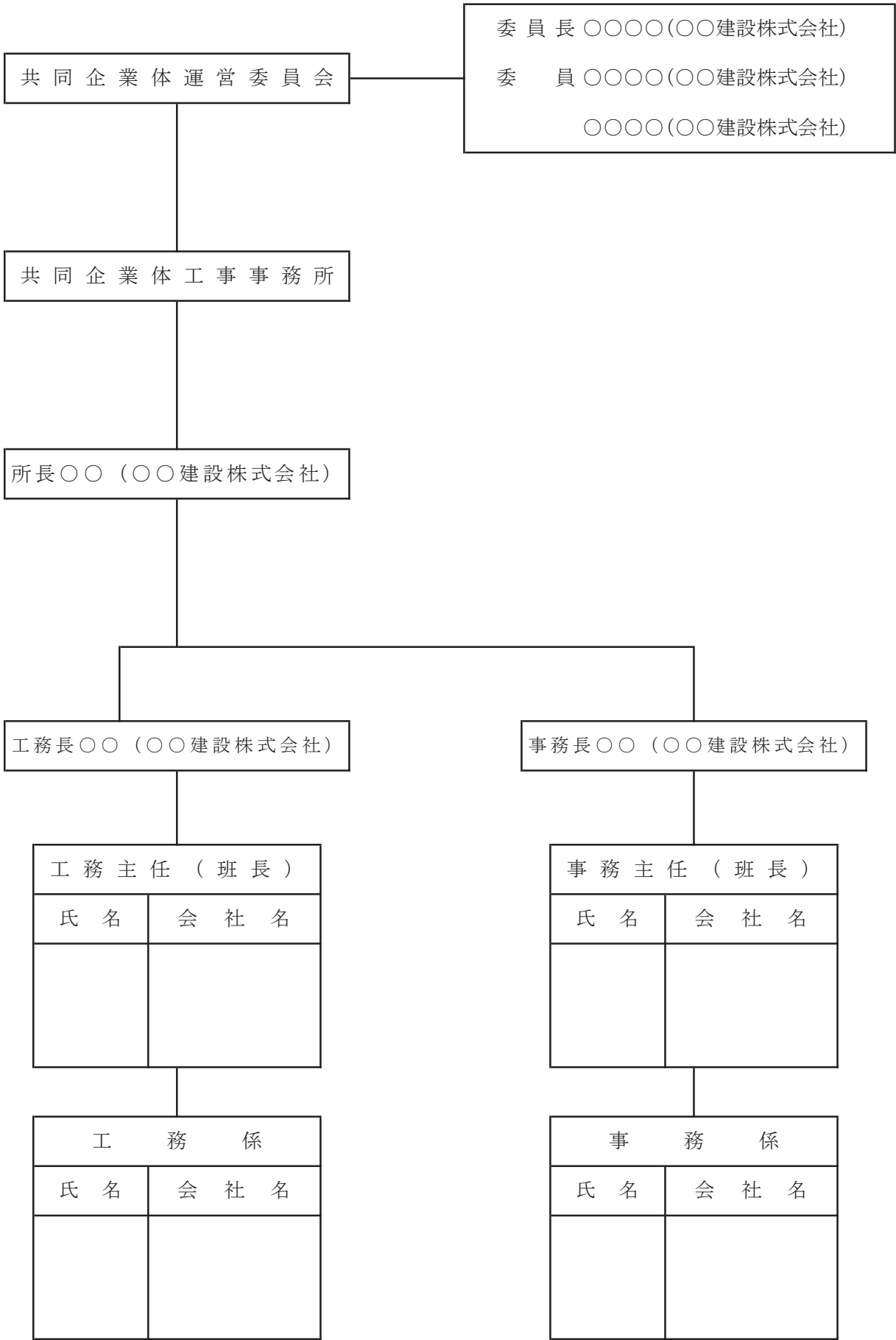
上記工事について、社内検査を行った結果、完成と認められるので報告します。

検 査 年 月 日 令和 年 月 日

検 査 員 職 氏 名 印

立 会 人 氏 名 印

〇〇共同企業体編成表



再 資 源 化 等 報 告 書

令和 年 月 日

十勝中部広域水道企業団
企業長 米沢 則寿 様

受注者 住 所
氏 名 印

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第18条第1項の規定により、下記のとおり、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したことを報告します。

記

- 1，工事の名称
- 2，工事の場所
- 3，再資源化等が完了した年月日 令和 年 月 日
- 4，再資源化等をした施設の名称及び所在地

特定建設資材廃棄物の種類	施 設 の 名 称	所 在 地

- 5，特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用 _____ 万円
- 6，再生資源利用実施書（様式1） 別紙のとおり
- 7，再生資源利用促進実施書（様式2） 別紙のとおり

年 月 日

産業廃棄物管理票（マニフェスト）総括表

受注者 住所
氏 名

印

産廃種類：

工事名：

[illegible]

実 施 数 量 (合 計)	10.00 t	
設 計 数 量 (合 計)	9.00 t	
差	1.00 t	111%

工 事 材 料 品 質 確 認 願

令和 年 月 日

十勝中部広域水道企業団
企業長 米沢 則寿 様

受注者 住 所

氏 名 印

工 事 名

上記工事について、工事材料の品質規格証明書を別紙のとおり提出しますので、ご確認願います。

上記工事について、工事材料の品質規格を確認しました。

令和 年 月 日

監督員職氏名 印

課 長	課長補佐	係 長	主 任

課 長	課長補佐	係 長	主 任

施 工 体 制 報 告 書

令和 年 月 日

十勝中部広域水道企業団
企業長 米沢 則寿 様

受注者 住所

氏名

工 事 名 _____

当該工事の施工体制を、別紙のとおり定めたので関係書類を添付して報告します。

工 事 施 工 協 議 簿

(第 回)										
工 事 名										
件名										
内容										
添付資料名										
【工事監督員】令和 年 月 日										
上記事項について ☐ 指示、 ☐ 承諾、 ☐ 協議、 ☐ 通知、 ☐ 受理 する。										
☐ 工事内容の変更の対象と ☐ しない。										
☐ する。ただし、詳細については別途指示する。										
☐ 工事内容の変更の対象とするか、後日指示する。										
☐ 特記事項										
【受注者】令和 年 月 日										
上記事項について ☐ 了解しました。 ☐ 承諾願います。										
☐ 協議、 ☐ 提出、 ☐ 報告 します。										
☐ 特記事項										
請負代金額		今回の変更による増減額		累計増減額		合計見込額		備考		
確認欄	発注者	局長	課長	係長	主任	係	監督員	受注者	主任技術者	現場代理人

注：該当する□に✓を記入すること。

「内容」について、記載欄が不足する場合は別紙への記載を可能とする。

工事施工協議簿 別紙

[illegible]

使 用 機 械 一 覧

機 種	規 格	台 数	使 用 工 種	排出ガス対策	その他
			(記入例) 土砂掘削 岩盤掘削 法面整形 路盤工締固め	(記入例) 排対 浄化装置付 非排対	

（理由書例）

排出ガス対策型建設機械を使用できない理由書

令和 年 月 日

（工事監督員） 様

（受注者名） ⑩

工 事 名			
現 場 代 理 人 名			
機 械 名		規 格	
当該工事で使用できない理由 （例） 自社持機械を使用し、排出ガス浄化装置を装着するには資金不足のため			
今後の使用方針 （例） 資金調達が出来次第、排出ガス浄化装置を設置する予定（１年後を予定）			
機 械 名		規 格	
当該工事で使用できない理由 （例） 自社持機械に対応する排出ガス浄化装置メーカーが市場にないため			
今後の使用方針 （例） 自社持機械に対応する排出ガス浄化装置メーカーが市場に追加されしだい、装着する予定			

課長	課長補佐	係長	主任

履 行 報 告 書

工事名			
工 期	令和 年 月 日 から 令和 年 月 日 まで		
日 付	令和 年 月 日 (月分)		
月 別	予定工程 % () は工程変更後	実施工程 %	
(記事欄)			

(作成上の注意)

- 1 報告は、原則毎月とし、工事監督員へ提出すること。
- 2 予定工程は、初回報告時に完成までの予定出来高累計を記入すること。
- 3 実施工程は、当該報告月までの出来高累計を記入すること。
- 4 計画と実施（赤色）を対比した工程表を添付すること。

送電線路付近工事協議書

発行 月 日

工 事 件 名		打 合 せ 日	令和 年 月 日
工 期	令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日		
現 場 住 所			
送 電 線 名	(電圧 kV)	支 持 物 N o	
施 工 会 社 名		工 事 担 当 者	
連 絡 先	事 業 所 TEL 現 場 事 務 所 TEL		
発 注 元	担当者 TEL		
協 議 出 席 者	(施工側)	協 議 場 所	北海道電力(株)帯広電力所 送電課 0155－31－2874
氏 名	(北電側)		

[illegible]

《終了確認》

各	長	担 当

《協議確認》

各	長	担 当	協 議 者

別記様式 1 休日等取得実績調書

[illegible]

週休2日補正	希望する	計画時チェック	現場閉所率（％）	＝ 現場閉所日数／週休2日確認対象期間 ＝ 0日/0日 ＝ #DIV/0! → #DIV/0! . . . #####	夏季休暇 4週8休以上 28.5%以上	注1：夏季休暇を土日祝祭日以外で3日取得願います 注2：夏季休暇を4日以上取得している場合は、3日までを夏季休暇として扱い、その他は通常の休日として処理する
		実施時チェック	現場閉所率（％）	＝ 現場閉所日数／週休2日確認対象期間 ＝ 0日/0日 ＝ → 	履行報告期限 令和4年1月21日	
熱中症対策補正	希望する	実施時チェック	真夏日率	＝ 真夏日／熱中症対象期間 ＝ 0日/0日 ＝ #DIV/0!	熱中症補正係数 1.2	注1：控除期間中の真夏日は、熱中症対策補正の日数には含まれません
			熱中症対策補正值	＝ 真夏日率×補正係数 ＝ #DIV/0! × 1.2 = #DIV/0!		

計 國 陸

別記様式1 休日等取得実績調査

工事名		経費体		〇〇地区		1工区		契約工期																	対象期間																
								令和3年4月1日																	令和4年2月10日																
								工事の始期																	工事の完了日																
								令和3年4月13日																	令和4年2月10日																
令和3年 3月	曜日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31									
	計画																																								
	実施																																								
	作業日																																								
	作業日(予定)																																								
4月	曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金										
	計画																																								
	実施																																								
	作業日																																								
	作業日(予定)																																								
5月	曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月									
	計画																																								
	実施																																								
	作業日																																								
	作業日(予定)																																								
6月	曜日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水										
	計画																																								
	実施																																								
	作業日																																								
	作業日(予定)																																								
7月	曜日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木										
	計画																																								
	実施																																								
	作業日																																								
	作業日(予定)																																								
8月	曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月										
	計画																																								
	実施																																								
	作業日																																								
	作業日(予定)																																								
9月	曜日	一	二	三	四	五	六	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月											
	計画																																								
	実施																																								
	作業日																																								
	作業日(予定)																																								
10月	曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土										
	計画																																								
	実施																																								
	作業日																																								
	作業日(予定)																																								
11月	曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火										
	計画																																								
	実施																																								
	作業日																																								
	作業日(予定)																																								
12月	曜日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木										
	計画																																								
	実施																																								
	作業日																																								
	作業日(予定)																																								
令和4年 1月	曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土										
	計画																																								
	実施																																								
	作業日																																								
	作業日(予定)																																								
2月	曜日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水										
	計画																																								
	実施																																								
	作業日																																								
	作業日(予定)																																								
3月	曜日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水										
	計画																																								
	実施																																								
	作業日																																								
	作業日(予定)																																								

計 國 時

週休2日補正	数値を入力	計画時チェック	現場閉鎖率(%)	=	現場閉鎖日数/週休2日確認対象期間 = 7月/26日 = 23.8% → 4週8日以上 ... OK	<table border="1"> <tr> <td>4週8日以上</td> <td>4週7日以上</td> <td>4週6日以上</td> </tr> <tr> <td>4週7日未満</td> <td>4週6日未満</td> <td>4週5日未満</td> </tr> <tr> <td>21.4%以上 25.0%未満</td> <td>25.0%以上 28.5%未満</td> <td>28.5%以上</td> </tr> </table>	4週8日以上	4週7日以上	4週6日以上	4週7日未満	4週6日未満	4週5日未満	21.4%以上 25.0%未満	25.0%以上 28.5%未満	28.5%以上	夏季休暇 3日 注1: 夏季休暇を土日祝祭日以外で3日取得いたします。 注2: 夏季休暇を4日以上取得している場合は、5日未満を夏季休暇として扱い、その他は通常の休日として処理する。 実行報告期間 令和4年1月21日
4週8日以上	4週7日以上	4週6日以上														
4週7日未満	4週6日未満	4週5日未満														
21.4%以上 25.0%未満	25.0%以上 28.5%未満	28.5%以上														
実施時チェック			現場閉鎖率(%)	=	現場閉鎖日数/週休2日確認対象期間 = 8日/30日 = 26.7% → 4週8日以上											
熱中症対策補正	数値を入力	実施時チェック	真夏日率	=	真夏日/熱中症対策期間 = 0日/26日 = 0%	熱中症補正係数	1.2									
			熱中症対策補正係	=	真夏日率 × 補正係数 = 0% × 1.2 = 0%		注1: 控除期間中の真夏日は、熱中症対策補正の日数には含まれません。									

实施時

別記様式1 休日等取得実績調査

工事名	経路体	〇〇地区	1工区		契約工期										対象期間																		工事の完了日															
													令和3年4月1日										～										令和4年2月10日															
			1 月	2 火	3 水	4 木	5 金	6 土	7 日	8 月	9 火	10 水	11 木	12 金	13 土	14 日	15 月	16 火	17 水	18 木	19 金	20 土	21 日	22 月	23 火	24 水	25 木	26 金	27 土	28 日	29 月	30 火	31 水															
令和3年 3月	曜日																																															
	計画																																															
	作業日																																															
	休日の数(人)																																															
	休日の数(人)																																															
4月	曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金																	
	計画																																															
	作業日																																															
	休日の数(人)																																															
	休日の数(人)																																															
5月	曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金																	
	計画																																															
	作業日																																															
	休日の数(人)																																															
	休日の数(人)																																															
6月	曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金																	
	計画																																															
	作業日																																															
	休日の数(人)																																															
	休日の数(人)																																															
7月	曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金																	
	計画																																															
	作業日																																															
	休日の数(人)																																															
	休日の数(人)																																															
8月	曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金																	
	計画																																															
	作業日																																															
	休日の数(人)																																															
	休日の数(人)																																															
9月	曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金																	
	計画																																															
	作業日																																															
	休日の数(人)																																															
	休日の数(人)																																															
10月	曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金																	
	計画																																															
	作業日																																															
	休日の数(人)																																															
	休日の数(人)																																															
11月	曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金																	
	計画																																															
	作業日																																															
	休日の数(人)																																															
	休日の数(人)																																															
12月	曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金																	
	計画																																															
	作業日																																															
	休日の数(人)																																															
	休日の数(人)																																															
令和4年 1月	曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金																	
	計画																																															
	作業日																																															
	休日の数(人)																																															
	休日の数(人)																																															
2月	曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金																	
	計画																																															
	作業日																																															
	休日の数(人)																																															
	休日の数(人)																																															
3月	曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金																	
	計画																																															
	作業日																																															
	休日の数(人)																																															
	休日の数(人)																																															

實施時

連休2日補正	数値入力	計画時チェック	現場閉鎖率(%) = 現場閉鎖日数 / 連休2日確認対象期間 = 79日 / 265日 = 29.8% → 4割6分以上 ... OK	4割6分以上 4割7未満 4割7以上 4割8未満 4割8以上 21.4%以上 25.0%未満 25.0%以上 28.5%未満 28.5%以上	夏季休暇 3日 (注) 夏季休暇を土日祝祭日より以外で3日取得願います。 注2 夏季休暇を4日以上取得している場合は、3日までを夏季休暇として扱い、その他は通常の休日として処理する。
実施時チェック		現場閉鎖率(%) = 現場閉鎖日数 / 連休2日確認対象期間 = 77日 / 265日 = 29.1% → 4割6分以上			進行報告書 令和4年1月21日
熱中症対策補正	数値入力	実施時チェック	真夏比率 = 真夏日 / 熱中症対象期間 = 4日 / 265日 = 1.5%	熱中症補正係数 1.2	(注) 控除期間中の真夏日は、熱中症対策補正の日数には含まれません。
		熱中症対策補正値 = 真夏比率 × 補正係数 = 1.82% × 1.2 = 0.22%			

位置図



0.0 0.5 1.0 1.5 2.0 km

1:50000

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。（承認番号平24情使、第244-28225号）」

工事概要一覧

事業種別	工事箇所	水系・路河川名	橋梁名等
耐震補強工事	なかとち浄水場 中札内村上札内西1線328番地	池棟(2系No.1)	

工 事 概 要	当 初		変 更	
	耐震補強工			
	コンクリート増打ち	一式		
	あと施工せん断補強	一式		
	内面防水塗装撤去・復旧	一式		

諸経費情報

主たる工種	構造物工事(浄水場等)
現場環境改善費(率分)計上区分	しない
施工地域補正	補正無し
施工時期補正	補正あり: 0.99%(1級地 1.8)
真夏日率(工期期間の真夏日÷工期)	0
J:対象額(工期延長等時点の現場管理費対象純工事費)	0
N:工期延長等日数(日)	0
R:工期延長等土木一般世話役単価(円/日)	0
緊急工事補正	しない
前払金割合による補正	35%を超えるもの
契約保証に係る補正	発注者が金銭的保証を必要とする場合

設計内訳書

工事名	なかとかち浄水場池棟(2系No.1)耐震補強工事			当 初	事業区分	水道施設整備		主たる工種	構造物工事(浄水場等)	
					工事区分	浄水場施設		施工地域	補正無し	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
耐震補強工事			式	1						
耐震補強工			式	1						
仮設工			式	1						
枠組足場			掛m2	410					単-1号	
敷鉄板設置撤去			m2	280					単-2号	
敷鉄板賃料		22*1524*3048	枚	60					単-3号	
取壊工			式	1						
コンクリート切断		t=30mm	m	130					単-4号	
コンクリート切断		t=100mm	m	5					単-5号	
コンクリート切断		t=250mm	m	1					単-6号	
コンクリート切断		t=500mm	m	10					単-7号	
コンクリート取壊し		人力、無筋構造物	m3	3					単-8号	

設計内訳書

工事名	なかとかち浄水場池棟(2系No.1)耐震補強工事		当 初	事業区分	水道施設整備		主たる工種	構造物工事(浄水場等)	
				工事区分	浄水場施設		施工地域	補正無し	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
コンクリートはつり		t=30mm	m2	85					単-9号
コンクリート殻屋外搬出		人力、無筋	t	12					単-10号
コンクリート殻運搬		無筋、D=9.5km	m3	5					単-11号
コンクリート殻処分		無筋	t	12					単-12号
コンクリート工			式	1					
鉄筋工		D25 SD345	t	1.2					単-13号
鉄筋工		D22 SD345	t	0.1					単-14号
鉄筋工		D13 SD345	t	0.7					単-15号
あと施工樹脂アンカー		樹脂アンカー D25用 下向き 穿孔長 (φ 34×L320)	本	65					単-16号
あと施工樹脂アンカー		樹脂アンカー D22用 下向き 穿孔長 (φ 30×L270)	本	9					単-17号
あと施工樹脂アンカー		樹脂アンカー D13用 横向き 穿孔長 (φ 16×L120)	本	974					単-18号
型枠工		小型構造物	m2	83					単-19号

設計内訳書

工事名	なかとかち浄水場池棟(2系No.1)耐震補強工事	当 初	事業区分	水道施設整備		主たる工種	構造物工事(浄水場等)		
			工事区分	浄水場施設		施工地域	補正無し		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
コンクリート打設		RC-4 (24-12-25)	m3	17					単-20号
コンクリート打設		C-4 (18-8-40)	m3	1					単-21号
圧送管組立・撤去			m	72					単-22号
あと施工せん断補強筋			式	1					
あと施工せん断補強筋		無機系モルタルカプセル D16 L=400	本	270					単-23号
内面処理工			式	1					
既設内面防水塗装撤去			m2	130					単-24号
産業廃棄物運搬		建設混合廃棄物 D=41 km	t	0.1					単-25号
産業廃棄物処分		建設混合廃棄物	t	0.1					単-26号
内面防水塗装復旧			m2	130					単-27号
付帯設備工			式	1					
トラップ [®] 撤去		L=5, 100mm	個所	2					単-28号

設計内訳書

工事名	なかとかち浄水場池棟(2系No.1)耐震補強工事	当 初	事業区分	水道施設整備			主たる工種	構造物工事(浄水場等)	
			工事区分	浄水場施設			施工地域	補正無し	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
トラップ 設置		L=5, 100mm	個所	2					単-29号
整流孔		VP φ 50	m	72					単-30号
整流孔		VPソケット φ 50	個	360					単-31号
攪拌設備撤去・再設置		攪拌翼 4面/基×4基	式	1					単-32号
直接工事費			式	1					
共通仮設			式	1					
共通仮設費			式	1					
運搬費			式	1					内-1号
仮設材運搬			t	48.1					代-35号
技術管理費			式	1					内-2号
鉄筋探査		非破壊試験（電磁波レダ）	m2	100					単-33号
共通仮設費(率計上)			式	1					19,525,100 * 7.76 / 100

設計内訳書

工事名	なかとかち浄水場池棟(2系No.1)耐震補強工事	当 初	事業区分	水道施設整備			主たる工種	構造物工事(浄水場等)	
			工事区分	浄水場施設			施工地域	補正無し	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
純工事費			式	1					19,590,000 + 4,120,000
現場管理費			式	1					23,645,100 * 34.56 / 100
工事原価			式	1					23,710,000 + 8,170,000
一般管理費等			式	1					$((31,879,900 * (19.57 + 0 + 0) / 100) + 12,751.96) - 1,648$
工事価格			式	1					31,880,000 + 6,250,000
消費税相当額			式	1					$38,130,000 * 10 / 100$
工事費計			式	1					38,130,000 + 3,813,000

一式当たり内訳書

内-1号	運搬費							単価適用年月日 歩掛適用年月日 労務調整-超過-規制	
名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
仮設材運搬		t	48.1					代-35号	

上段から 既契約数量／出来高数量／出来高累計／前回残工事／今回残工事

一式当たり内訳書

内-2号		技術管理費					単価適用年月日 歩掛適用年月日 労務調整-超過-規制		
名称		規格／条件	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
鉄筋探査		非破壊試験（電磁波レーダ）	m2	100					単-33号

上段から 既契約数量／出来高数量／出来高累計／前回残工事／今回残工事

1次単価表

単-1号

名称		規格		単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制			
杵組足場				掛m2	数量	1	単価
名称		規格／条件		単位	数量	単価	金額
足場設置・撤去				掛m2	1		代-1号

1次单価表

单-2号

[illegible]

1次単価表

単-3号

単-37

						単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制				
名称		規格								
敷鉄板賃料		22*1524*3048		枚						
				単位		数量	1		単価	
名称		規格／条件		単位	数量		単価		金額	摘要
鋼板(賃貸)180日以内		22*1524*3048		枚/日	120					道建設部策定単価
鋼板(賃貸)整備費		22*1524*3048		枚	1					道建設部策定単価

1次単価表

単-4号

名称		規格		単位		数量		単価		金額		摘要	
コンクリート切断		t=30mm		m		1		単価					
舗装版切断		コンクリート舗装版 Co:15cm以下		m		1		単価		金額		CB430510 代-3号	

単価適用年月	
歩掛適用年月	
労務調整-超過-規制	

1次单価表

单-5号

[illegible]

1次单価表

单-6号

[illegible]

1次单価表

单-7号

[illegible]

1次单価表

单-8号

[illegible]

1次単価表

単-9号

名称		規格		単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制			
コンクリートはつり	t=30mm	単位	m2	数量	1	単価	
名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリートはつり	t=30mm 支障害物あり	m2	1			代-7号	

1次单価表

单-10号

[illegible]

1次单価表

单-11号

[illegible]

1次单価表

单-12号

[illegible]

1次单価表

單-13号

[illegible]

1次单価表

单-14号

[illegible]

1次単価表

単-15号

名称		規格		単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制		
鉄筋工	D13 SD345	単位	t	数量	1	単価
名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋工〔市場単価〕	SD345・D13 一般構造物 10t未満 制約無 夜間無 トナリ無 法面無 太径10%未満(補正無) 補正無(一般構造物) 週休2日補正:4週8休以上	t	1			WB810010 代-12号

1次単価表

単-16号

名称		規格		単位		数量		単価		金額		摘要	
あと施工樹脂アンカー		樹脂アンカー D25用 下向き 穿孔長(φ34×L320)		本		1		単価					
コンクリート削孔(電動ハンマドリル)		規格/条件		単位		数量		単価		金額		摘要	
				孔		1						CB435920 代-13号	
アンカー		25mm以下 下方向		本		1						CB435940 代-14号	
ケミカルアンカー R-25N		径24.5×L265mm ガラス管		本		1						刊行物単価	

単価適用年月	
歩掛適用年月	
労務調整-超過-規制	

1次単価表

単-17号

名称		規格		単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制				
あと施工樹脂アンカー		樹脂アンカー D22用 下向き 穿孔長(φ30×L270)		単位	本	数量	1	単価
名称		規格／条件		単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート削孔(電動ハンマドリル)				孔	1			CB435920 代-13号
アンカー		25mm以下 下方向		本	1			CB435940 代-14号
ケミカルアンカー R-22N		径22×L198mm ガラス管		本	1			刊行物単価

1次単価表

単-18号

名称		規格		単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制				
あと施工樹脂アンカー		樹脂アンカー D13用 横向き 穿孔長(φ16×L120)		単位	本	数量	1	単価
名称		規格／条件		単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート削孔(電動ハンマドリル)				孔	1			CB435920 代-13号
アンカー		25mm以下 横方向		本	1			CB435940 代-15号
ケミカルアンカー R-12N		径13×L83mm ガラス管		本	1			刊行物単価

1次单価表

单-19号

[illegible]

1次单価表

单-20号

車-20号

							単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制			
名称		規格								
コンクリート打設		RC-4(24-12-25)		単位	m3		数量	1	単価	
名称		規格／条件		単位	数量		単価		金額	摘要
コンクリート		無筋・鉄筋構造物 コンクリートポンプ車打設 24-12-25(20)(普通)生コンクリート小型車割増無 一般養生 10m3以上100m3未満 延長無し		m3	1					CB240010 代-17号

1次単価表

単-21号

名称		規格		単位		数量		単価		金額		摘要	
コンクリート打設		C-4(18-8-40)		m3		1		単価					
人力打設		小型構造物 現場内小運搬90m 一般養生含		m3		1						代-19号	

単価適用年月	
歩掛適用年月	
労務調整-超過-規制	

1次单価表

単-22号

単-22号

名称				規格				単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制						
圧送管組立・撤去								単位	m	数量	42	単価		
名称				規格／条件				単位	数量		単価	金額		摘要
普通作業員								人	2.23					二省労務単価

1次単価表

単-23号

名称		規格		単位		数量		単価		金額		摘要	
あと施工せん断補強筋		無機系モルタルカプセル D16 L=400		本		1		単価					
あと施工せん断補強工		無機系モルタルアンカー D16 L=400		本		1						代-20号	

単価適用年月	
歩掛適用年月	
労務調整-超過-規制	

単-24号

1次単価表

名称		規格		単位		数量		単価		金額		摘要	
既設内面防水塗装撤去				m2		1							
既設内面防水撤去		サントーケレン t≦0.5mm		m2		1						代-21号	

単価適用年月	
歩掛適用年月	
労務調整-超過-規制	

1次単価表

単-25号

単-25号

				単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制			
名称	規格						
産業廃棄物運搬	建設混合廃棄物 D=41km	単位	t	数量	1	単価	
名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬（人力屋外搬出）	集積積込・運搬・取卸	t	1			代-8号	
現場発生品及び支給品運搬	トラック[クレーン装置付]ヘビーストラック2t級、吊能力2.9t DID区間無し 43.0km以下	t	1			CB010410 代-22号	

1次単価表

単-26号

名称		規格		単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制		
産業廃棄物処分	建設混合廃棄物	単位	t	数量	1	単価
名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
ﾀﾊﾞ(中間処理) 帯広市西23条北4丁目1-2	建設廃材・廃プラスチック類・ゴムくず・ガラス・陶器くず・木くず・抜根等・建設混合廃棄物 石膏ボード・畳・繊維くず 循環税相当額	t	1			ZKD5652700・800・900 ZKD5654000 ZKD5654100 ZKD5657100 ZKD5654200 ZKD5654300 ZKD5654600 ZKD5657150 地方資材単価
ﾀﾊﾞ(中間処理) 帯広市西23条北4丁目1-2	建設混合廃棄物	t	1			ZKD5652400 地方資材単価

1次単価表

単-27号

第 27 号

				単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制				
名称		規格						
内面防水塗装復旧			m2		1	単価		
		単位		数量				
名称		規格／条件		単位	数量	単価	金額	摘要
下地処理工				m2	1			代-23号
素地調整工		JWWA K-143 材工共		m2	1			代-24号
下塗工		JWWA K-143 材工共		m2	1			代-25号
上塗工		JWWA K-143 材工共		m2	1			代-26号

1次单価表

单-28号

[illegible]

1次単価表

単-29号

代-29号

						単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制				
名称		規格								
タラップ設置		L=5,100mm		単位	個所		数量	1	単価	
名称		規格／条件		単位		数量		単価	金額	摘要
タラップ（クリップアンカー仕様）		足掛金物18本（設置間隔17段）サイトホール延長5,100mm		組		1				見積策定単価
タラップ（クリップアンカー仕様）		足掛金物のみ		本		1				見積策定単価
足掛金物設置				本		19				代-29号

1次単価表

単-30号

名称		規格		単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制				
整流孔		VP φ 50		単位	m	数量	1	単価
名称		規格／条件		単位	数量	単価	金額	摘要
硬質ポリ塩化ビニル管 水道管 (VP)		呼び径50 60×4. 5mm×5m		m	1			刊行物単価
硬質塩化ビニル管切断		呼び径50mm		口	4			代-30号

1次単価表

単-31号

名称		規格		単位		数量		単価		金額		摘要	
整流孔		VPソケット φ 50		個		1		単価					
水道用硬質ポリ塩化ビニル管TS継手 ソケット		呼び径50mm		個		1						刊行物単価	
硬質塩化ビニル管TS継手工 据付		呼び径50mm		個		1						代-31号	

単価適用年月	
歩掛適用年月	
労務調整-超過-規制	

1次単価表

単-32号

名称		規格		単位		数量		単価		金額		摘要	
攪拌設備撤去・再設置		攪拌翼 4面/基×4基		式		1		単価					
回転翼撤去		4面/基×4基		式		1						代-32号	
回転翼再設置		4面/基×4基		式		1						代-33号	
通り芯調整・試運転				式		1						代-34号	

単価適用年月	
歩掛適用年月	
労務調整-超過-規制	

1次単価表

単-33号

単-33号

				単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制			
名称	規格						
鉄筋探査	非破壊試験(電磁波レーダ)	単位	m2	数量	12.5	単価	
名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
技師(A)(外業)		人	1			二省労務単価	
技師(B)(外業)		人	2			二省労務単価	
技師(C)(外業)		人	2			二省労務単価	
諸雑費		%	5			諸雑費	

参考資料(1)

代-1号

14-1号						単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制		
名称		規格						
足場設置・撤去			掛m2			410	単価	
		単位		数量				
名称		規格／条件		単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役				人	6.67			二省労務単価
特殊作業員				人	45			二省労務単価
普通作業員				人	10.33			二省労務単価
諸雑費				%	32			諸雑費

参考資料(1)

代-2号

名称		規格		単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制					
敷鉄板設置・撤去		設置・撤去		単位	m2	数量	100	単価	
名称	規格／条件		単位	数量	単価	金額	摘要		
土木一般世話役			人	0.295			二省労務単価		
とび工			人	0.295			二省労務単価		
普通作業員			人	0.295			二省労務単価		
バックホウ(賃料)	容量0.8(0.6)m3・吊能力2.9t		日	0.295			機械-1号		
諸雑費			%	1			諸雑費		

参考資料(1)

代-6号

名称		規格		単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制					
構造物とりこわし		無筋構造物 人力施工 制約無 夜間無 週休2日 補正:4週8休以上		単位	m3	数量	1	単価	
名称		規格／条件		単位	数量	単価	金額	摘要	
構造物とりこわし工 昼間施工[手間のみ]		無筋構造物 人力施工 制約なし		m3	1			Q001611002 Q314601020 刊行物単価	
諸 雑 費				式	1			調整金	

参考資料(1)

代-7号

名称		規格		単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制					
コンクリートはつり		t=30mm 支障物あり		単位	m2	数量	85	単価	
名称	規格／条件		単位	数量	単価	金額	摘要		
土木一般世話役			人	3.67			二省労務単価		
特殊作業員			人	15.67			二省労務単価		
普通作業員			人	11.67			二省労務単価		
空気圧縮機運転費			日	5.33			機械-2号		
諸雑費			%	1			諸雑費		

参考資料(1)

代-8号

18号

				単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制				
名称	規格							
穀運搬(人力屋外搬出)	集積積込・運搬・取卸	単位	t		数量	12	単価	
名称	規格／条件	単位		数量	単価	金額	摘要	
普通作業員		人		21.67			二省労務単価	
諸雑費		%		7			諸雑費	

参考資料(1)

代-9号

名称		規格		単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制					
ダンプトラック運搬(人力積込)		コンクリート殻(無筋) DID無し 11.0km以下 良好		単位	m3	数量	10	単価	
名称		規格／条件		単位	数量		単価	金額	摘要
ダンプトラック 良好		オンロード・デイスル・積載質量2t積級		日	2.3				DX145020 機械-3号
諸 雑 費				式	1				調整金

参考資料(1)

代-10号

名称		規格		単位		数量		単価		金額		摘要	
鉄筋工[市場単価]		SD345・D16~D25 一般構造物 10t未満 制約無 夜間無 トネル無 法面無 太径10%未満(補正無) 補正無(一般構造物) 週休2日補正:4週8休以上		t		1		単価					
異形棒鋼 SD345		D25mm 3.98kg/m		t		1.03						刊行物単価	
鉄筋工		加工・組立共 一般構造物		t		1						Q001001002 刊行物単価	
諸 雑 費				式		1						調整金	

単価適用年月	
歩掛適用年月	
労務調整-超過-規制	

参考資料(1)

代-11号

名称		規格		単位		数量		単価		金額		摘要	
鉄筋工[市場単価]		SD345・D16~D25 一般構造物 10t未満 制約無 夜間無 トネル無 法面無 太径10%未満(補正無) 補正無(一般構造物) 週休2日補正:4週8休以上		t		1		単価					
異形棒鋼 SD345		D22mm 3.04kg/m		t		1.03						刊行物単価	
鉄筋工		加工・組立共 一般構造物		t		1						Q001001002 刊行物単価	
諸 雑 費				式		1						調整金	

単価適用年月	
歩掛適用年月	
労務調整-超過-規制	

参考資料(1)

代-12号

名称		規格		単位		数量		単価		金額		摘要	
鉄筋工[市場単価]		SD345・D13 一般構造物 10t未満 制約無 夜間無 トンネル無 法面無 太径10%未満(補正無) 補正無(一般構造物) 週休2日補正:4週8休以上		t		1		単価					
鉄筋コンクリート用棒鋼		SD345 D13		t		1.03						Z001102019 道建設部策定単価	
鉄筋工		加工・組立共 一般構造物		t		1						Q001001002 刊行物単価	
諸 雑 費				式		1						調整金	

単価適用年月	
歩掛適用年月	
労務調整-超過-規制	

参考資料(1)

代-16号

名称		規格		単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制			
型枠工	小型構造物 製作加工～組立設置～解体撤去	単位	m2	数量	83	単価	
名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役		人	3.67			二省労務単価	
型わく工		人	24.33			二省労務単価	
普通作業員		人	11.67			二省労務単価	
諸雑費		%	15			諸雑費	

参考資料(1)

代-18号

[illegible]

参考資料(1)

代-19号

代-19号

					単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制				
名称		規格							
人力打設		小型構造物 現場内小運搬90m 一般養生含		単位	m3	数量	1	単価	
名称		規格／条件		単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役				人	1.33			二省労務単価	
特殊作業員				人	1.33			二省労務単価	
普通作業員				人	5.33			二省労務単価	
(普通AE剤)生コンクリート(帯広ゾーン)		C-4 18-5-40		m3	1			ZKD1411300 地方資材単価	
諸雑費				%	19			諸雑費	

参考資料(1)

代-20号

名称		規格		単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制					
あと施工せん断補強工		無機系モルタルアンカー D16 L=400		単位	本	数量	14	単価	
名称		規格／条件		単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役				人	1			二省労務単価	
特殊作業員				人	2			二省労務単価	
普通作業員				人	1			二省労務単価	
あと施工せん断補強筋		D16 鉄筋長400mm		本	14			見積策定単価	
諸雑費				%	28			諸雑費	

参考資料(1)

代-21号

名称		規格		単位		数量		単価		金額		摘要	
既設内面防水撤去		サンダーケレン t≦0.5mm		m2		130		単価					
名称		規格／条件		単位		数量		単価		金額		摘要	
土木一般世話役				人		4						二省労務単価	
特殊作業員				人		13						二省労務単価	
普通作業員				人		5						二省労務単価	
諸雑費				%		20						諸雑費	

単価適用年月	
歩掛適用年月	
労務調整-超過-規制	

参考資料(1)

代-23号

名称		規格		単位		数量		単価		金額		摘要	
下地処理工				m2		130		単価					
土木一般世話役				人		1						二省労務単価	
特殊作業員				人		2						二省労務単価	
普通作業員				人		1.67						二省労務単価	
諸雑費				%		20						諸雑費	

単価適用年月	
歩掛適用年月	
労務調整-超過-規制	

参考資料(1)

代-24号

名称		規格		単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制			
素地調整工	JWWA K-143 材工共	単位	m2	数量	130	単価	
名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役		人	4			二省労務単価	
特殊作業員		人	10.67			二省労務単価	
普通作業員		人	8			二省労務単価	
諸雑費		%	42			諸雑費	

参考資料(1)

代-25号

名称		規格		単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制			
下塗工	JWWA K-143 材工共	単位	m2	数量	130	単価	
名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役		人	3.67			二省労務単価	
特殊作業員		人	11.67			二省労務単価	
普通作業員		人	7.67			二省労務単価	
諸雑費		%	41			諸雑費	

参考資料(1)

代-26号

名称		規格		単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制			
上塗り工	JWWA K-143 材工共	単位	m2	数量	130	単価	
名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役		人	1			二省労務単価	
特殊作業員		人	3			二省労務単価	
普通作業員		人	2.33			二省労務単価	
諸雑費		%	49			諸雑費	

参考資料(1)

代-27号

名称		規格		単位		数量		単価		金額		摘要	
足掛金物撤去				個		0.5						代-28号	
諸 雑 費				式		1						調整金	

単価適用年月	
歩掛適用年月	
労務調整-超過-規制	

参考資料(1)

代-28号

名称		規格		単位		数量		単価		金額		摘要	
足掛け金物取付け工				人		0.05						二省労務単価	
普通作業員				人		0.05						二省労務単価	

単価適用年月	
歩掛適用年月	
労務調整-超過-規制	

参考資料(1)

代-29号

名称		規格		単位		数量		単価		金額		摘要	
足掛金物設置				個		1						代-28号	
諸 雑 費				式		1						調整金	

単価適用年月	
歩掛適用年月	
労務調整-超過-規制	

参考資料(1)

代-30号

名称		規格		単位		数量		単価		金額		摘要	
硬質塩化ビニル管切断		呼び径50mm		人		0.01						二省労務単価	
普通作業員				人		0.01						二省労務単価	
諸雑費				%		1						諸雑費	

単価適用年月	
歩掛適用年月	
労務調整-超過-規制	

参考資料(1)

代-31号

名称		規格		単位		数量		単価		金額		摘要	
硬質塩化ビニル管TS継手工 据付		呼び径50mm		個		1		単価					
配管工		規格／条件		人		0.04						二省労務単価	
普通作業員				人		0.04						二省労務単価	
諸雑費				%		1						諸雑費	

単価適用年月	
歩掛適用年月	
労務調整-超過-規制	

参考資料(1)

代-32号

1C-32号		単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制			
名称	規格	単位	数量	単価	金額
回転翼撤去	4面/基×4基	式	1	単価	
名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額
土木一般世話役		人	4		二省労務単価
設備機械工		人	20		二省労務単価
諸雑費		%	18		諸雑費

参考資料(1)

代-33号

名称		規格		式		数量		単価		金額		摘要	
回転翼再設置		4面/基×4基		単位		数量		1		単価			
土木一般世話役		規格／条件		単位		数量		単価		金額		摘要	
設備機械工				人		4						二省労務単価	
諸雑費				%		18						諸雑費	

単価適用年月	
歩掛適用年月	
労務調整-超過-規制	

参考資料(1)

代-34号

名称		規格		単位		数量		単価		金額		摘要	
通り芯調整・試運転				人		3						二省労務単価	
設備機械工				人		9						二省労務単価	
諸雑費				%		18						諸雑費	

単価適用年月	
歩掛適用年月	
労務調整-超過-規制	

参考資料(1)

代-35号

名称		規格		単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制					
仮設材運搬				単位	t	数量	1	単価	
名称		規格／条件		単位	数量	単価	金額	摘要	
仮設材運搬 製品L≦12m		片道36km 往復 冬期		t	1			代-36号	
諸 雑 費				式	1			調整金	

参考資料(1)

代-36号

名称		規格		単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制					
仮設材運搬 製品L≤12m		片道36km 往復 冬期		単位	t	数量	1	単価	
名称		規格／条件		単位	数量		単価	金額	摘要
仮設材の運搬費		基本運賃		t	2				
冬期割増				%	20				諸雑費
積込費取卸し費		積込費+取卸し費 基地現場間往復		t	1				R7国交省・赤本P I -2-②-15
諸 雑 費				式	1				調整金

参考資料（1）（施工パッケージ）

代-3号

名称		規格		単位		数量		単価		金額		摘要	
舗装版切断		コンクリート舗装版 Co:15cm以下		m		1		単価					
機械構成比率						13.11							
コンクリートカッタ		ハキューム式・超低騒音型・湿式・深20cm・プレート径56cm		%		8.92						1161-215-020-056 刊行物単価	
労務構成比率						50.94							
特殊作業員				%		17.37						二省労務単価	
土木一般世話役				%		9.5						二省労務単価	

単価適用年月	
歩掛適用年月	
労務調整-超過-規制	

参考資料（1）（施工パッケージ）

代-3号

名称		規格		単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制					
舗装版切断		コンクリート舗装版 Co:15cm以下		単位	m	数量	1	単価	
名称		規格／条件		単位	構成比率		単価	金額	摘要
普通作業員				%	7.79				二省労務単価
材料構成比率					35.95				
コンクリートカッタ(ﾌﾟﾚｰﾄﾞ)		径18ｲﾝﾁ		%	32.35				Z006540009 刊行物単価
ｶﾞｰｿﾘﾝ		ﾚｷﾞｭﾗｰ		%	2.45				Z006704001 Z304010030 7304010050 道建設部策定単価

参考資料（1）（施工パッケージ）

代-4号

名称		規格		単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制			
舗装版切断	コンクリート舗装版 Co:15cm以下	単位	m	数量	1	単価	
名称	規格／条件	単位	構成比率		単価	金額	摘要
機械構成比率			13.11				
コンクリートカッタ	ハッキューム式・超低騒音型・湿式・深20cm・プレート径56cm	%	8.92				1161-215-020-056 刊行物単価
労務構成比率			50.94				
特殊作業員		%	17.37				二省労務単価
土木一般世話役		%	9.5				二省労務単価

参考資料（1）（施工パッケージ）

代-4号

名称		規格		単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制			
舗装版切断	コンクリート舗装版 Co:15cm以下		単位	m	数量	1	単価
名称	規格／条件		単位	構成比率	単価	金額	摘要
普通作業員			%	7.79			二省労務単価
材料構成比率				35.95			
コンクリートカッタ(ﾌﾟﾚｰﾄﾞ)	径18ｲﾝﾁ		%	32.35			Z006540009 刊行物単価
ｶﾞｰﾂﾘﾝ	ﾚｷﾞｭﾗｰ		%	2.45			Z006704001 Z304010030 7304010050 道建設部策定単価

参考資料（1）（施工パッケージ）

代-5号

名称		規格		単位		数量		単価		金額		摘要	
舗装版切断		コンクリート舗装版 Co:15cmを超え30cm以下		m		1		単価					
機械構成比率				10.52									
コンクリートカッタ		ハッキューム式・超低騒音型・湿式・深30cm・プレート径75cm		%		7.16						1161-215-030-075 刊行物単価	
労務構成比率				38.34									
特殊作業員				%		13.07						二省労務単価	
土木一般世話役				%		7.15						二省労務単価	

単価適用年月	
歩掛適用年月	
労務調整-超過-規制	

参考資料（1）（施工パッケージ）

代-5号

名称		規格		単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制					
舗装版切断		コンクリート舗装版 Co:15cmを超え30cm以下		単位	m	数量	1	単価	
名称		規格／条件		単位	構成比率		単価	金額	摘要
普通作業員				%	5.86				二省労務単価
材料構成比率					51.14				
コンクリートカッタープレート		φ 75cm (30インチ)		%	23.06				Z006540005 刊行物単価
コンクリートカッタープレート		φ 56cm (22インチ)		%	15.81				Z006540003 刊行物単価
コンクリートカッタ(プレート)		径14インチ		%	9.67				Z006540008 刊行物単価

代-5号

單價適用年月	
步掛適用年月	
勞務調整-超過-規制	

[illegible]

参考資料（1）（施工パッケージ）

代-13号

名称		規格		単位		数量		単価		金額		摘要	
コンクリート削孔(電動ハンマドリル)				単位		数量		1		単価			
名称		規格／条件		単位		構成比率		単価		金額		摘要	
労務構成比率						100							
土木一般世話役				%		45.21						二省労務単価	
特殊作業員				%		41.75						二省労務単価	

単価適用年月	
歩掛適用年月	
労務調整-超過-規制	

参考資料（1）（施工パッケージ）

代-14号

名称		規格		単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制					
アンカー		25mm以下 下方向		単位	本	数量	1	単価	
名称		規格／条件		単位	構成比率		単価	金額	摘要
労務構成比率					100				
特殊作業員				%	49.79				二省労務単価
土木一般世話役				%	26.94				二省労務単価
普通作業員				%	22.28				二省労務単価

参考資料（1）（施工パッケージ）

代-15号

単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制		

名称	規格	単位	本	数量	1	単価	金額	摘要
アンカー	25mm以下 横方向	単位						
労務構成比率	規格／条件	単位		構成比率		単価	金額	摘要
				100				
特殊作業員		%		48.82				二省労務単価
土木一般世話役		%		26.42				二省労務単価
普通作業員		%		21.85				二省労務単価

参考資料（1）（施工パッケージ）

代-17号

名称		規格		単位		数量		単価		金額		摘要	
コンクリート		無筋・鉄筋構造物 コンクリートポンプ車打設 24-12-25(20)(普通)生コンクリート小型車割増無 一般養生 10m3以上100m3未満 延長無し		単位		m3		1		単価			
機械構成比率						4.11							
コンクリートポンプ車		トラック架装・フォーム式・圧送能力 90~110m3/h		%		4.07						0951-022-110-001 刊行物単価	
労務構成比率						16.85							
普通作業員				%		8.77						二省労務単価	
土木一般世話役				%		2.96						二省労務単価	

単価適用年月	
歩掛適用年月	
労務調整-超過-規制	

参考資料（1）（施工パッケージ）

代-22号

単価適用年月	
歩掛適用年月	
労務調整-超過-規制	

名称	規格						
現場発生品及び支給品運搬	トラック[クレーン装置付]ヘーストラック2t級、吊能力2.9t DID区間無し 43.0km以下	単位	t	数量	1	単価	
名称	規格／条件	単位		構成比率	単価	金額	摘要
機械構成比率				13.58			
トラック	クレーン装置付・積載質量 2t積・2.9t吊	%		13.58			0302-021-023-001 刊行物単価
労務構成比率				83.54			
運転手(特殊)		%		42.54			二省労務単価
特殊作業員		%		41			二省労務単価

参考資料（1）（施工パッケージ）

代-22号

単価適用年月	
歩掛適用年月	
労務調整-超過-規制	

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場発生品及び支給品運搬	トラック[クレーン装置付]ヘーストラック2t級、吊能力2.9t DID区間無し 43.0km以下	t	1			
材料構成比率			2.88			
軽油		%	2.88			Z00070Z00Z Z040011002 7305010250 道建設部策定単価

機械運転単価表

機械-1号

機械1号

				単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制						
名称		規格								
バックホウ(賃料)		容量0.8(0.6)m3・吊能力2.9t		単位	日	数量	1	単価		
名称		規格／条件		単位	数量		単価	金額	摘要	
運転手(特殊)				人	1				二省労務単価	
軽油				L	119				Z00670Z00Z Z040011002 7305010250 道建設部策定単価	
バックホウ(賃貸)クローラ型クレーン付		容量0.8(0.6)m3・吊能力2.9t		日	1.06				L001010004 道建設部策定単価	
諸 雑 費				式	1				調整金	

機械運転単価表

機械-2号

機械-2号

					単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制				
名称		規格							
空気圧縮機運転費				単位	日	数量	1	単価	
名称		規格／条件		単位	数量	単価	金額	摘要	
エンジンコンプレッサ(賃貸)		5m3/分 低騒音型		日	1			L001090004 L301020020 道建設部策定単価	
軽油		小型ローリー 4KL積載車		L	21			刊行物単価	
諸 雑 費				式	1			調整金	

機械運転単価表

機械-3号

名称		規格		単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制					
ダンプトラック 良好		オンロード・ディーゼル・積載質量2t積級		単位	日	数量	1	単価	
名称		規格／条件		単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(一般)				人	1			二省労務単価	
軽油				L	25			Z00670Z00Z Z040011002 Z305010250 道建設部策定単価	
ダンプトラック		オンロード・ディーゼル・積載質量2t積級		供用日	1.17			0301-011-020-001 刊行物単価	
タイヤ損耗費及び補修費		2~3t積級 良好 供用日		供用日	1.17			Z010020025 Z306030010 刊行物単価	
諸 雑 費				式	1			調整金	

建設リサイクル法に関する解体工事費用調書

費用区分	名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
解体費	コンクリート切断	t=30mm	m	130			単-4号
	コンクリート切断	t=100mm	m	5			単-5号
	コンクリート切断	t=250mm	m	1			単-6号
	コンクリート切断	t=500mm	m	10			単-7号
	コンクリート取壊し	人力、無筋構造物	m3	3			単-8号
	コンクリートはつり	t=30mm	m2	85			単-9号
解体費計							

建設リサイクル法に関する再資源化等費用調書

費用区分	名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
運搬費	コンクリート殻運搬	無筋、D=9.5km	m3	5			単-11号
運搬費計							
処分費	コンクリート殻処分	無筋	t	12			単-12号
処分費計							
循環税相当額							
循環税相当額計							
再資源化費計							

令和7年度 なかとかち浄水場池棟(2系No.1)耐震補強工事 数量集計表

十勝中部広域水道企業団

工 種 (レベル2)	耐震補強工		種別 (レベル3)	数量集計表		測点			
種 別 (レベル3)	細 目 (レベル4)	規 格 (レベル5)	算 出 計 算		数 量	単 位	摘 要		
仮設工	改築足場工	H≦30m 枠組足場	7ロック形成池 側壁部 D通り 上流側(図面No.5,7) (10.35+0.50)*4.00		=	43.4			
			沈殿地 側壁部 D通り 下流側(図面No.5,8) (9.05+0.80+0.50)*5.80		=	60.0			
			沈澱池 側壁部 F通り 上流側(図面No.14,16) (9.05+9.05)*5.80		=	105.0			
			流出帯 側壁部 F通り 下流側(図面No.14,17) 18.60*(5.80-0.50)		=	98.6			
			池上部通路(図面No.3) 25.75*0.85		=	21.9			
			屋外ステージ 5.40*3*5.00		=	81.0			
			計			409.9	409.9	掛m2	
	敷鉄板設置撤去	22×1524×3048	設置枚数		=	60.0			
			1.524*3.048*60		=	278.7	278.7	m2	
	敷鉄板賃料	供用日数120日	60		=	60	60	枚	

上段:当初数量、下段:変更数量

工 種 (レベル2)	耐震補強工		種別 (レベル3)	数量集計表		測点		
種 別 (レベル3)	細 目 (レベル4)	規 格 (レベル5)	算 出 計 算			数 量	単 位	摘 要
取壊工	コンクリート切断	t=30mm	ブロック形成池 側壁部 D通り 上流側 (0.15+0.80+2.10*2)+(0.15+0.80+2.10)*2	=	11.3			
			ブロック形成池 底版部 D通り 上流側 (0.15+0.80)*3	=	2.9			
			ブロック形成池 側壁部 D通り 下流側 (0.25+0.80+2.10*2)*3	=	15.8			
			ブロック形成池 底版部 D通り 下流側 (0.25+0.80)*3	=	3.2			
			沈澱池 側壁部 F通り 上流側 (0.20+3.80+2.00+3.80)*2+(0.20+1.95+2.00+3.80+1.85)*2	=	39.2			
			沈澱池 側壁部 F通り 下流側 (0.20+3.80+2.00+3.80)*4	=	39.2			
			沈澱池 底版部 F通り 上・下流側 (0.20+2.00)*6+(0.20+2.00+0.20)*2	=	18.0			
			計	=	129.6	129.6	m	
		t=100	ブロック形成池 勾配コンクリート D通り 上流側 (0.35+1.00)+(0.35+2.50+0.35)	=	4.6	4.6	m	
		t=250	沈澱池 勾配コンクリート F通り 上流側 0.25*4	=	1.0	1.0	m	
		t=500	沈澱池 勾配コンクリート F通り 下流側 (0.40+2.20)*4	=	10.4	10.4	m	

上段:当初数量、下段:変更数量

種 別 (レベル3)	細 目 (レベル4)	規 格 (レベル5)	算 出 計 算	数 量	単 位	摘 要
取壊工	コンクリート取壊し	人力、無筋構造物	7ロック形成池 勾配コンクリート D通り 上流側 (0.35*1.00+(0.35*2.50-0.15*0.50))*0.10 = 0.1			
			沈澱池 勾配コンクリート F通り 上流側 (0.25*2.20*2+0.25*4.90)*0.25 = 0.6			
			沈澱池 勾配コンクリート F通り 下流側 0.40*2.20*4*0.50 = 1.8			
			計 2.5	2.5	m3	

上段:当初数量、下段:変更数量

種 別 (レベル3)	細 目 (レベル4)	規 格 (レベル5)	算 出 計 算		数 量	単 位	摘 要
取壊工	コンクリートはつり	t=30mm	ブロック形成池 側壁部 D通り 上流側 (0.15+0.80)*2.1*3	= 6.0			
			ブロック形成池 底版部 D通り 上流側 0.15*0.80*3	= 0.4			
			ブロック形成池 側壁部 D通り 下流側 (0.25+0.80)*2.10*4	= 8.8			
			ブロック形成池 底版部 D通り 下流側 0.25*0.80*4	= 0.8			
			沈澱池 側壁部 F通り 上流側 (0.20+2.00)*3.80*2+(0.20*1.95+2.00*3.80)*2	= 32.7			
			沈澱池 側壁部 F通り 下流側 (0.20+2.00)*3.80*4	= 33.4			
			沈澱池 底版部 F通り 上・下流側 0.20*2.00*8	= 3.2			
			計	85.3	85.3	m2	

上段: 当初数量、下段: 変更数量

種 別 (レベル3)	細 目 (レベル4)	規 格 (レベル5)	算 出 計 算		数 量	単 位	摘 要
取壊工	コンクリート殻屋外搬出	人力、無筋	勾配コンクリート 2.5	= 2.5			
			コンクリートはつり 85.3*0.030	= 2.6			
			計	5.1	5.1	m3	
			単位定積重量 無筋コン 2.35t/m3 5.1*2.35	= 12.0	12.0	t	
	コンクリート殻運搬	無筋	=屋外搬出量 5.1	= 5.1	5.1	m3	
	コンクリート殻処分	無筋	5.1*2.35	= 12.0	12.0	t	

上段:当初数量、下段:変更数量

工 種 (レベル2)	耐震補強工		種別 (レベル3)	規 格		数量集計表		測点			
種 別 (レベル3)	細 目 (レベル4)		規 格 (レベル5)		算 出 計 算		数 量	単 位	摘 要		
コンクリート工	鉄筋工		D25 SD345		7ロック形成池 整流壁 + 沈殿池 側壁 (113.9+1094.3)/1000		= 1.2	1.2	t		
	鉄筋工		D22 SD345		7ロック形成池 整流壁 + 沈殿池 側壁 82.6/1000		= 0.1	0.1	t		
	鉄筋工		D13 SD345		7ロック形成池 整流壁 + 沈殿池 側壁 (87.3+572.8)/1000		= 0.7	0.7	t		

上段:当初数量、下段:変更数量

種 別 (レベル3)	細 目 (レベル4)	規 格 (レベル5)	算 出 計 算		数 量	単 位	摘 要
コンクリート工	あと施工樹脂アンカー	樹脂アンカー D25用 下向き 穿孔寸法 (φ34×L320)	7ロック形成池 整流壁(上流) + 沈殿池 側壁(上・下流) 9+56	= 65	65	本	
	あと施工樹脂アンカー	樹脂アンカー D22用 下向き 穿孔寸法 (φ30×L270)	7ロック形成池 整流壁(下流) + 沈殿池 側壁 9	= 9	9	本	
	あと施工樹脂アンカー	樹脂アンカー D13用 横向き 穿孔寸法 (φ16×L120)	7ロック形成池 整流壁 + 沈殿池 側壁 154+820	= 974	974	本	

上段:当初数量、下段:変更数量

種 別 (レベル3)	細 目 (レベル4)	規 格 (レベル5)	算 出 計 算	数 量	単 位	摘 要
コンクリート工	型枠工	小型構造物	フロック形成池 側壁部 D通り 上流側 増打コンクリート (0.15*2.10+0.80*2.10)*3 = 6.0			
			フロック形成池 側壁部 D通り 下流側 増打コンクリート (0.25*2.10+0.80*2.10)*3 = 6.6			
			沈澱池 側壁部 F通り 上・下流側 増打コンクリート (0.20*3.80+2.00*3.80)*8+(0.20*1.85)*2 = 67.6			
			沈澱池 側壁部 F通り 上流側 勾配コンクリート 0.25*2.20*2+0.25*4.90 = 2.3			
			計 82.5	82.5	m2	

種 別 (レベル3)	細 目 (レベル4)	規 格 (レベル5)	算 出 計 算	数 量	単 位	摘 要
コンクリート工	コンクリート打設	RC-4(24-12-25)	ブロック形成池 側壁部 D通り 上流側 増打コンクリート (0.18*0.83*2.13)*3 = 1.0			
			ブロック形成池 側壁部 D通り 下流側 増打コンクリート (0.28*0.83*2.13)*3 = 1.5			
			沈澱池 側壁部 F通り 上・下流側 増打コンクリート (0.23*2.03*3.83)*8 = 14.3			
			計 16.8	16.8	m3	
		C-4(18-8-40)	ブロック形成池 側壁部 D通り 上流側 勾配コンクリート ((0.35*1.00-0.15*0.80)*2+(0.35*2.50-0.15*2.10))*0.10 = 0.1			
			沈澱池 側壁部 F通り 上流側 勾配コンクリート ((0.25*2.20-0.20*2.00)*4+0.25*0.50)*0.25 = 0.2			
			沈澱池 側壁部 F通り 下流側 勾配コンクリート (0.40*2.20-0.20*2.00)*0.50*4 = 1.0			
			計 1.3	1.3	m3	
コンクリート工	圧送管組立・撤去		= 72.0	72.0	m	

上段:当初数量、下段:変更数量

工 種 (レベル2)		耐震補強工		種別 (レベル3)	数量集計表		測点		
種 別 (レベル3)		細 目 (レベル4)		規 格 (レベル5)	算 出 計 算		数 量	単 位	摘 要
あと施工せん断補強工		あと施工せん断補強筋		無機系モルタルカプセル D16 L=400	横向き (2系) 270	= 270	270	本	

工 種 (レベル2)	耐震補強工		種別 (レベル3)	数量集計表		測点				
種 別 (レベル3)	細 目 (レベル4)	規 格 (レベル5)	算 出 計 算		数 量	単 位	摘 要			
内面処理工	既設内面防水塗装撤去		ブロック形成池 側壁部 D通り 上流側 ((0.45+1.10)+(1.10+0.15)*2+0.5)*2.40	= 10.9			補強範囲より30cm余裕幅考慮			
			ブロック形成池 底版部 D通り 上流側 0.45*1.10+0.45*2.70-0.15*0.50	= 1.6						
			ブロック形成池 側壁部 D通り 下流側 (0.55+1.10)*2.40*3	= 11.9						
			ブロック形成池 底版部 D通り 下流側 0.30*1.10*3	= 1.0						
			沈澱池 側壁部 F通り 上流側 (0.50+2.30)*4.10*2	= 23.0						
			沈澱池 側壁部 F通り 上流側 (0.50+2.30)*2.25*2+(2.30*2+0.50)*1.85	= 22.0						
			沈澱池 底版部 F通り 上流側 0.50*2.30*2+0.50*5.10	= 4.9						
			沈澱池 側壁部 F通り 下流側 (0.50+2.30)*4.10*2+(0.40+2.30)*4.10*2	= 45.1						
			沈澱池 底版部 F通り 下流側 0.50*2.30*2+0.50*5.10-0.40*0.50	= 4.7						
						計	125.1	125.1	m2	

上段:当初数量、下段:変更数量

種 別 (レベル3)	細 目 (レベル4)	規 格 (レベル5)	算 出 計 算		数 量	単 位	摘 要
内面処理工	産業廃棄物運搬	建設混合廃棄物	エポキシ樹脂(塗膜厚 t=0.3mm、 $\gamma=1.3\text{t/m}^3$)				
			125.1*0.0003*1.3	= 0.05	0.05	t	
	産業廃棄物処分	建設混合廃棄物	0.05	= 0.05	0.05	t	

種 別 (レベル3)	細 目 (レベル4)	規 格 (レベル5)	算 出 計 算		数 量	単 位	摘 要
内面処理工	内面防水塗装復旧	水道用コンクリート水槽内面エポキシ樹脂塗装 JWWA-K-143	=既設内面防水塗装撤去面積				
			125.1	=	125.1	125.1	m2

工 種 (レベル2)	耐震補強工		種別 (レベル3)	数量集計表		測点		
種 別 (レベル3)	細 目 (レベル4)	規 格 (レベル5)	算 出 計 算			数 量	単 位	摘 要
付帯設備工	タラップ撤去	L=5,100mm(足掛金物 18本(サイドホール付)+1本)	沈澱池 側壁部 F通り 上流側					
			2	=	2	2	箇所	
	タラップ設置	L=5,100mm(足掛金物 18本(サイドホール付)+1本)	沈澱池 側壁部 F通り 上流側					
			2	=	2	2	箇所	
	整流孔	VP φ 50	ブロック形成池 側壁部 D通り 上流側 L=150mm					
			12*3*0.15	=	5.4			
			ブロック形成池 側壁部 D通り 下流側 L=250mm					
			12*3*0.25	=	9.0			
			沈澱池 側壁部 F通り 上・下流側 L=200mm					
			36*8*0.20	=	57.6			
			計		72.0	72.0	m	
	整流孔	VPソケット φ 50	ブロック形成池 側壁部 D通り 上流側 L=150mm					
			12*3	=	36			
			ブロック形成池 側壁部 D通り 下流側 L=250mm					
			12*3	=	36			
			沈澱池 側壁部 F通り 上・下流側 L=200mm					
			36*8	=	288			
			計		360	360	個	
	攪拌設備撤去・再設置	攪拌翼 4面/基 × 4基	1	=	1	1	式	

上段:当初数量、下段:変更数量

工 種 (レベル2)	共通仮設費		種別 (レベル3)	数量集計表			測点			
種 別 (レベル3)	細 目 (レベル4)	規 格 (レベル5)	算 出 計 算				数 量	単 位	摘 要	
運搬費	仮設材運搬	製品長12m以内、片道36km 積込費・取卸し費・基地現場間往復	敷鉄板 22×1524×3048 (802kg/枚) 60*802/1000		=	48.1	48.1	t		

上段: 当初数量、下段: 変更数量

種 別 (レベル3)	細 目 (レベル4)	規 格 (レベル5)	算 出 計 算		数 量	単 位	摘 要
技術管理費	鉄筋探査	非破壊試験(電磁波レーダ)	フロック形成池 側壁部 D通り 上・下流側 0.800×2.100×6	= 10.1			
			沈澱池 側壁部 F通り 上・下流側 2.000×3.800×8	= 60.8			
			沈澱池 側壁部 F通り 上流側 タラップ新設箇所 0.40×5.10×2	= 4.1			
			池棟 管廊部 B通り 9.050×1.300×2	= 23.5			
			計	98.5	98.5	m2	

上段:当初数量、下段:変更数量

R7 なかとかち浄水場池棟耐震補強工事 運搬距離表

施工場所：中札内村上札内西1線328

コンクリート

処分量

12.0 t

施設名	住所	処理単価		処理費	距離	運搬費	処理経費	
(株)ティー・ワイ	更別村字更別北2線97-5				11.0			
永井工業(株)	中札内村中札内西2線359				9.5			○
北央道路工業(株)	更別村字上更別南12線102				18.0			

建設混合廃棄物

処分量

0.1 t

施設名	住所	処理単価		処理費	距離	運搬費	処理経費	
北海道エコシス	帯広市西24条北4丁目5-4	90,000	円/t	9,000	41.0	19,320	28,320	
タナベ	帯広市西23条北5丁目1-7	61,000	円/t	6,100	41.0	19,320	25,420	○
大玄工業	幕別町大豊132-2	81,000	円/t	8,100	45.0	22,000	30,100	